

★本記事の読み上げ動画を作成しました!

忙しく記事を読む時間がない方でも、耳を傾けていただくだけで内容を把握することができるよう、本記事を読み上げた動画を作成しました。移動時間やスキマ時間などにぜひご活用ください!
動画はこちら➡<https://youtu.be/sBmv9LdKz-c>



過去の
動画は
こちら



連載

★学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に取り組むクラブ★

公益財団法人渋川市まちづくり財団 しぶかわスポーツクラブ 群馬県渋川市

学校運動部活動を巡っては、少子化による生徒数の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

文部科学省では、令和5(2023)年から令和7(2025)年までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現をめざすよう各自治体に求めており、総合型クラブにおいても学校運動部活動との連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。

1

クラブ概要

しぶかわスポーツクラブは、子どもから高齢者までのすべての者(以下「対象者」という)のスポーツ活動を奨励し、「一市民スポーツ」および「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、対象者の健康づくりを推進するとともに、地域に根ざしたスポーツ環境づくりを進め、青少年の健全育成、地域の活性化に寄与することを目的として平成29(2017)年5月に設立されました。その後、令和2(2020)年4月に公益財団法人渋川市まちづくり財団の一組織となり、当財団の公益目的事業であるスポーツ・健康推進事業を担っています。令和6(2024)年3月末時点において、会員数は225名、開催しているスポーツ教室は30種類となっています。また、令和5(2023)年度の実績として、イベントなども含めた教室開催数は788回、参加者延べ人数は8,576人です。

令和6(2024)年4月現在、クラブの運営スタッフは5名体制となっており、当初のクラブ設立目的の達成に向け、また、学校運動部活動との連携という新たな取り組みへの対応など、市民や行政とも連携を図りながら活動しています。

2

中学校体育連盟と中学校長会との連携を図り 休日部活動を開始

中学校の休日部活動の地域移行に向けた取り組みが検討されるなかで、渋川市教育委員会が「渋川市部活動地域移行検討委員会」を立ち上げ、そのメンバーに当クラブの職員2名が参加しています。また、「休日の運動部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究」として、中学校体育連盟や中学校長会と連絡調整を図りながら、令和5(2023)年度は地域クラブ活動として、4つの競技種目の休日活動を開始しました。

群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業への参加

渋川市教育委員会および中学校体育連盟と連携を図りながら、令和5(2023)年9月から群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業の「休日の運動部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究」に取り組みました。初年度は年度途中から取り組んだ経緯もあり、体操、スケート、軟式野球、バレーボールの4競技種目で実践研究を開始しました。事業の開始にあたり、指導者や活動場所、活動内容や保護者の協力など、これまでの活動実績を基に関係する指導者や学校と調整を図りながら事業を推進してきました。令和5(2023)年度末には、4競技の成果報告書を取りまとめ、成果と課題を明確にするとともに、次年度に向けた指導体制のさらなる整備を確認しました。令和5(2023)年度中に取り組んだ4種目については次のような取り組みが見られました。

【体操】

市体操協会所属の指導者と部活動指導員(県教育委員会から派遣されている指導者)経験者が、少年団の子どもたちと中学生を合同で指導しています。活動場所は、器具の設置や保管の関係上、特定の市内中学校の体育館を使用しています。

【スケート】

市スケート協会所属の指導者が、スポーツ少年団の子どもたちと中学生を合同で指導しています。活動場所は、市内伊香保町にある高崎健康福祉大学伊香保リンク(群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク)を使用して活動しています。スケートリンクまでの送迎は、保護者に協力をお願いしています。令和5(2023)年度から、中体連大会には地域スポーツクラブとして参加しており、県大会や全国大会に参加した生徒の指導や引率を外部指導者(渋川市が募った指導者)に依頼しています。教員の引率がなくなったことで、業務の軽減につながりました。課題としては、教員が直接、生徒の活躍を応援したり把握したりすることができないことが挙げられます。



伊香保町にあるスケートリンク



地域のスポーツ少年団との合同練習

【軟式野球】

自校に野球部がない中学生を対象に、元教員で部活動指導員の経験のある指導者と地域の外部指導者が指導にあたっています。活動場所は、特定の市内中学校の校庭や市営グラウンドを使用しています。地域の中学生が体験的に練習に参加することもあります。



自校に野球部がない中学生を対象に活動を開始



地域の中学生も参加した合同練習

【バレーボール】

市内に3校あるバレーボール部の生徒が合同で練習しています。市バレーボール協会所属の指導者や部活動指導員経験者が指導にあたり、参加中学校の体育館を使用して活動しています。



3校合同での練習会



スパイク練習で、専門的な指導を受けている様子

また、令和6(2024)年度は、前述の4競技種目に加え、柔道、剣道、陸上競技、ソフトボール、バドミントン等において実証研究を計画しており、各競技団体や会場となる中学校との調整や準備を進めているところです。

地域スポーツクラブと学校・地域をつなぐ役割を務める

総合型地域スポーツクラブの運営は、令和2(2020)年度から、公益財団法人渋川市まちづくり財団しぶかわスポーツクラブ課が行っています。しぶかわスポーツクラブ課の課長(以下、「当クラブ課長」という)は、市内中学校の校長を退職後、令和5(2023)年4月に当クラブに着任しました。これまで、渋川市(中学校9校)および隣接する北群馬郡(中学校2校)の中学校体育連盟会長を務めており、在任中には運動部活動の地域移行に関わる実態調査や各競技種目の現状把握を行うなど、当該市町村教育委員会をはじめとする関係団体との調整役を担ってきました。

クラブ着任後は、渋川市部活動地域移行検討委員会(以下「検討委員会」という)のメンバーとして会議に参加するとともに、検討委員会に向けた担当者による準備会の設営にも関わるなど、市教育委員会と市中学校長会および中学校体育連盟、市スポーツ協会、各競技団体等の関係団体をつなぐコーディネーター的な役割を務めてきました。

地域のスポーツ関係団体および他市町との連携にも力を入れる

渋川市スポーツ課からの依頼を受けて、令和5(2023)年9月に学校部活動外部指導者16名、スポーツ少年団の指導者30名を対象とした研修会の講師を当クラブ課長が引き受け、「教育的な意義を踏まえた持続可能な部活動の実現をめざして～部活動の段階的な地域移行を見据えた指導のあり方～」をテーマに講演を行いました。各中学校の部活動の現状を踏まえ、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域が育てる」という共通認識の下に、学校と地域そして行政が連携・協働して部活動の地域移行に取り組むことの必要性を伝えました。また、同年11月には、渋川市スポーツ協会の依頼により加盟する各競技団体の代表者55名が参加した「中学校運動部活動の段階的な地域移行に向けて」と題した講演を行いました。渋川市の現状と課題についての説明や県および市教育委員会の推進計画策定の背景やねらい、今後の方向性等の情報提供を実施し、本研修会を通して、スポーツ協会としての体制づくりの必要性や学校および行政が一体となって部活動の地域移行を推進していくことの重要性を確認しました。

さらに隣接する群馬県北群馬郡吉岡町が開催する部活動地域移行検討委員会や研修会に、市教育委員会担当者とともに参加し、互いの取り組みの進捗状況や課題についての情報を共有しました。また、県内の前橋市および伊勢崎市の担当者との情報交換会の設営に向けたコーディネーター役を当クラブ課長が務め、各市の取り組み状況や懸案事項を確認し合うとともに、群馬県教育委員会の担当者にも同席を依頼し、国の動向や県としての考え方、県下の取り組み状況などの情報提供をしていただきました。

部活動の地域移行に関わる研修会



渋川市スポーツ課主催の部活動外部指導者およびスポーツ少年団指導者対象の研修会の様子



渋川市スポーツ協会主催のスポーツ指導者(各競技団体代表者)対象の研修会の様子

リーフレットの配布等、学校・地域との連携と啓発活動の推進

「なぜ今、部活動の地域移行を行うのか」「今後どのようなスケジュールで地域移行が進んでいくのか」などの不安の声が学校現場をはじめとしてさまざまな場面で聞かれ、教職員のみならず地域のスポーツ関係者や児童生徒および保護者に、地域移行に関する具体的な内容について周知されていない状況がありました。

そこで、当クラブ課長が渋川市小中学校長会の依頼を受けて、令和5(2023)年8月3日に市内小中学校長研究協議会で、部活動の地域移行に係る現状と今後の方向性についての説明と国や県からの資料に基づく情報提供を行いました。そして、小中学校の校長が情報を共有し共通理解の下に対応を進めることが確認されました。また、地域移行の理解を図るための啓発資料である、渋川市部活動地域移行リーフレット「部活動地域移行の考え方と今後の方向性」の原案作成にも関わり、令和6(2024)年3月に小中学校の児童生徒および保護者、教職員に配布されました。

3

成果や課題を具体的に整理し 地域移行の整備が進む

地域が受け皿となる部活動地域移行の体制整備を行うためには、学校における運動部活動および中学校体育連盟の現状を把握し、市行政や市スポーツ協会および各競技団体をつなぐコーディネーターの存在が不可欠だと考えます。

渋川市教育委員会が主催する検討委員会のメンバーからも、「なぜ今、部活動の地域移行が必要なのか」また、「今後どのようなスケジュールで地域移行が進んでいくのか」、さらに、「地域移行後の具体的な地域クラブ活動のあり方はどうなるのか」といった意見が出されました。

このような状況のなかで、アンケートによる実態調査や各学校の部活動の状況把握、群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業を活用した実証研究を実施しながら、成果や課題を具体的に整理し、リーフレットの作成や配布を行い、周知を図ってきました。また、検討委員会での成果や課題を踏まえて、令和6(2024)年度の取り組みにつなげるための方向性も確認されました。

具体的な取り組みとして、令和6(2024)年度には、「渋川市部活動地域移行推進委員会」が設置され、当クラブ課長が地域移行コーディネーターを兼ねて委員会に参加し、これまで以上に推進役としての情報提供や意見を述べる機会ができるようになります。また、群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業の拡充を図り、各学校および競技種目の実情に応じた体制整備を行うために、先を見通した渋川市としての予算を計上することもできました。さらに、市スポーツ協会に所属する各競技団体にも協力を依頼し、休日部活動の地域クラブ活動としての指導体制の整備を進めています。

4

地域クラブとして運営主体となる 推進をさらにめざす

各種イベントの充実や派遣教室を通じたPR活動の推進

現在実施している30種目の定期教室の内容の充実と参加者(会員)の確保や増員に向けたさらなるPR活動を行っています。「しぶかわスポーツクラブだより」や「クラブカレンダー」に掲載している各教室の活動内容を一覧表にまとめたり運動強度をイラストで示したりして、よりわかりやすく各教室を案内できるように改良への取り組みを始めました。また、各教室の指導者の賠償責任保険への加入も行い、万が一の大きな対応や賠償責任に問われるような事案にも対応できるようにしました。

定期教室の他にも、令和6(2024)年度に計画しているイベントは、「小学生陸上教室」が8回、「ウオーキング教室」が4回、「トランポリン教室」が2回、「ユニバーサルスポーツ体験教室」が1回、「ふれあいスポーツ教室」が1回、「健康づくり講演会」が1回等、さまざまなスポーツ体験を企画しています。クラブだよりやイベントのチラシを配布し、幅広い年齢層の方々に参加を呼びかけています。また、恒例となっている「しぶかわスポーツクラブまつり」を11月に計画しており、渋川市スポーツ協会や渋川市スポーツレクリエーション協会の協力の下、地域の企業の支援や協賛をいただきながら、多くの市民の皆さんが、多様なスポーツを体験できるイベントとなるよう準備を進めています。各種イベントやクラブまつり際には、クラブの活動を紹介するなど積極的にPR活動を行っています。さらに、地元企業や公民館、スポーツ少年団等から派遣教室の依頼を受けて、講師を派遣したりクラブスタッフが指導に出向いたりしています。今後も、多くの市民の皆さんにしぶかわスポーツクラブの活動を知ってもらい、地域に根ざしたスポーツ環境づくりを推進していきます。

地域をリードする運営主体となれるよう環境整備を検討

令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までの3年間は、国や県が示す部活動地域移行に係る改革推進期間のため、令和5(2023)年度は、市教育委員会が主導して「渋川市中学校部活動地域移行検討委員会」を立ち上げ、その後、「渋川市中学校部活動地域移行推進委員会」を設置し、県が推進する「群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業」等も積極的に活用して、地域クラブ活動を展開する計画です。その際、これまでになかった新たな運動種目を加えることで、生徒の多様なニーズに応じた活動を展開し、その受け皿となる活動として、しぶかわスポーツクラブが定期教室として実施している空手道教室やスポーツチャンバラ教室等を考えています。将来的には、しぶかわスポーツクラブの組織や教室運営の方法を活用した、地域クラブ活動を推進するための運営主体となれるような環境整備を検討していきたいと思えます。

公益財団法人渋川市まちづくり財団しぶかわスポーツクラブ課 課長 下境一浩

クラブプロフィール

設立年月日 平成29(2017)年5月16日(令和2年4月1日 法人登記)

所在地 群馬県渋川市中村830番地5 中村緑地公園管理棟1階

運営 会員数:225名(令和6年3月現在)、予算規模:20,934千円(令和6年度)

- 特徴**
- 幅広い年代を対象として、多種目のスポーツ教室を開催しています。
 - 自治会やサークル等からの要請を受けて、スポーツ指導者を派遣して教室を開催することもできます。
 - スポーツイベント等も年間で複数回開催し、市民がスポーツに親しむきっかけづくりをしています。
 - 法人の一組織である強みを活かして、参加者の費用負担を少なくしています。

連絡先 〒377-0002 住所:群馬県渋川市中村830番地5 中村緑地公園管理棟1階
TEL:0279-26-3009 FAX 0279-26-8822
HP:<https://www.shibuspo.com/>
E-mail:shibuspo@an.wakwak.com

JSPO(日本スポーツ協会)webサイト内に 運動部活動改革 特集ページを公開中!

運動部活動改革の経緯やJSPOの基本的考え方、参考情報をはじめ
スポーツ庁や競技団体、自治体等の取り組み事例を掲載

URL:<https://www.japan-sports.or.jp/tabid1377.html>

